

研究機関：広島大学

研究課題名	全国胃癌登録研究計画書（2017年5月改訂版）
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
研究期間	2017年10月19日 ～ 2019年3月
対象者	2010年1月から2010年12月の間に当院消化器・移植外科に受診された、初発胃癌、初発胃癌(ESD/EMR後)、残胃癌、GIST、悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍の患者さん。
意義・目的	<p>本研究は本邦における胃がんの本邦の統計および追跡調査を行うことにより、胃がんに関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることを目的とします。</p> <p>我が国の胃がん罹患数は、年間約13万人と推定され、各種臓器癌のなかで第三位です。年齢調整罹患率は年々僅かずつ減少していますが、総数は人口の高齢化のため増加しています。すなわち、胃がん克服の重要性はいささかも減しておらず、死亡率も徐々に低下しているものの、現在、肺癌、大腸癌に次いで第三位です。胃がん全国登録は、1963年から50年間にわたり続けられており、全国主要施設からの胃がん患者に関する詳細なデータを収集し、これを統計的に分析しています。本研究の目的は、この膨大なデータの解析によって、我が国の胃がんの経年的な病態の変化、診断法、治療法の進歩とその成績などを明らかにすることです。この基礎的・臨床的な分析の結果から、胃がんの生物学的特性などの基礎的問題の解明と、現時点での最良の診療指針の探求が可能となり、これによって胃癌制圧に貢献しようとするものであります。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、病理組織学的診断、予後などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	日本胃癌学会および日本胃癌学会会員が所属する施設で本研究の趣旨に賛同する協力施設 日本胃癌学会（研究責任者 掛地 吉弘(神戸大学)）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 消化器外科 講師 田邊和照
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5222 広島大学病院消化器・移植外科 職名 教授 大段 秀樹 職名 大学院生 太田 浩志（担当者）